

平成29年度
優良取組賞

ヤマト運輸株式会社

会社概要

ヤマト運輸株式会社は、大正8年11月に会社創立し、県内において55事業所を展開し、従業員数は約2,000名である。その内、ドライバー数は約1,000名である。

自動車の保有台数は624台、うち低公害車は534台で約86%を占めている。

企業姿勢は、「環境保護の推進」を掲げ、「環境問題への取り組みが人類共通の課題であると認識し、環境保護活動を自主的・積極的に推進します。」として取り組んでいる。

削減実績

二酸化炭素排出量削減率4.2%達成（平成25年度比）

※電力排出係数の変動の影響を考慮し、電力排出係数を基準年度（平成25年度）に固定して実績排出量を算定し、計画期間（平成26年度～平成28年度）の平均排出量を評価した。

実施した対策

全従業員による削減活動の実施

省エネ推進委員会を年2回実施し、実績等や今後の方針など話し合い、省エネに向けた取組をしている。また、社員研修は年1回実施し、安全指導等を徹底している。

独自・先進的取組

トラック全車にSee-Tナビ（安全・エコナビゲーションシステム）を取り付け、車速、距離、時間に加え、急発進、急加速など様々なデータが管理され、毎日の日報として省エネ得点分布図による燃費改善指導、事故防止等の指導を行っている。

集配には、台車や自転車を使用して、トラックを使用しない集配稼働エリアを広げ、燃料削減及び二酸化炭素排出量削減に繋げている。

また、走行距離を減らして、事故のリスクを下げる取組を実施するとともに、走行ルートを決めてバックする回数を減らす取組や、トラックを止める場所を決めて、そこを拠点に集配するルートを決めることにより、事故のリスク回避を実践している。

更に、深夜の充電により冷却できる冷蔵、冷凍庫車載車両を導入し、アイドリング時間の短縮による燃料消費の削減に繋げている。

今後は、集配には、台車や自転車を使用した集配稼働エリアの拡大や低公害車の導入を進め、二酸化炭素排出量削減に繋げていく予定である。



環境宣言



エコドライブ取組



CSR活動